



労働政策研究報告書 No.127

2011

JILPT : The Japan Institute for Labour Policy and Training

妻からみた夫の労働時間

— 「労働時間に関するアンケート調査（妻調査）」結果分析 —

妻からみた夫の労働時間

— 「労働時間に関するアンケート調査（妻調査）」結果分析 —

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

The Japan Institute for Labour Policy and Training

ま え が き

この報告書は、労働政策研究・研修機構（JILPT）におけるプロジェクト研究の一つである「多様な働き方への対応、ワークライフバランスの実現に向けた就業環境の整備のあり方に関する調査研究」におけるサブテーマ「ワークライフバランスと労働時間に関する研究」の一環として実施した「労働時間に関するアンケート調査（妻調査）」の結果を紹介するものである。

この調査は、同じサブテーマにおいて正社員を対象に実施された「労働時間に関するアンケート調査」に併せて、その調査の対象となった男性の妻を対象に実施されたものである。労働時間の問題を考える際には労働者や雇用（使用）している企業の視点がもとより重要であるが、ワークライフバランスの観点からはそれとともに家庭生活の視点も同様に重要である。そこで、労働時間のあり様が家庭生活にさまざまな影響を及ぼしていることが考えられるが、とりあえずの第一次接近として、妻の視点からみて、夫の労働時間が家庭生活にどのような影響を与えているのかについて実態把握を試みたものである。

一つの調査でこの課題に十全な答えを出すことは望むべくもないが、この調査では、夫の（長い）労働時間についてその健康面を含め妻がどのように考えているのか、また、夫の労働時間の長さが妻自身の就業面などの生活設計にどの程度影響しているのかなどに関する調査項目を設定し、その結果を分析したところである。

この報告書におけるデータに基づいた分析結果を通じて、男性が長時間労働に従事していることによって、自身の健康状態や企業の効率性に影響があるといったことばかりでなく、労働生活の基盤でもある家庭生活にも様々な影響を与え、また、人生のパートナーである妻の生き方に影響を与えてもいる面があることにも気づくことが、指摘されることの多い長時間労働問題を解決に向かわせる一つの原動力になることも期待される。

調査にご協力いただいた皆様にあらためて感謝申しあげるとともに、この報告書が、この問題に関心を持たれる方々によって広範囲に活用されることを期待し、また願うものである。

2011年1月

独立行政法人 労働政策研究・研修機構
理事長 山口 浩 一 郎

執 筆 者

氏名 所 属

あきお 浅尾 ゆたか 裕 (労働政策研究・研修機構労働政策研究所所長／主席統括研究員)

目 次

第1章 調査の概要	1
(付) 調査票	5
第2章 調査結果の概要—年齢別集計を中心として—	27
第1節 回答者(妻)の主な属性、就業状態	27
第2節 世帯の状況	35
第3節 夫の仕事をめぐる生活時間の状況	40
第4節 生活習慣と健康状況	57
第5節 妻の生活イメージと生活満足度	61
第3章 調査結果データの論点分析	73
第1節 若干の予備的考察	73
第2節 夫の仕事時間と妻の時短希望	89
第3節 結婚当時の生活イメージと夫の仕事時間	109
第4節 妻のキャリア・イメージと夫の仕事時間	129
第5節 妻の生活満足度と夫の仕事時間	139
第6節 論点別分析のまとめと政策インプリケーション	161
基礎集計結果表	171

